

がん専門薬剤師認定申請書

申請年月日	平成 年 月 日
(ふりがな) 申請者氏名	() ⑩
生年月日(満年齢)	年 月 日 (歳)
性別	男・女 (○を付けて下さい)
現住所	〒□□□-□□□□
勤務先・所属 職名	
勤務先住所	〒□□□-□□□□
同 Tel・Fax メールアドレス	Tel:()-()-() ・ Fax:()-()-() E-mail _____@_____
薬剤師名簿(免許)	登録番号：第 号 登録年月日： 年 月 日
認定薬剤師 該当するものについて有効な最新(更新)番号を記入して下さい	日本病院薬剤師会生涯研修履修認定：第 号 日本医療薬学会認定：第 号 日本薬剤師研修センター認定：第 号 日本臨床薬理学会認定：第 号 その他 ()
職能・学術団体等 該当するものについて有効な会員番号を記入して下さい	日本病院薬剤師会： 日本薬剤師会： 日本医療薬学会： 日本薬学会： 日本癌学会： 日本癌治療学会： 日本臨床腫瘍学会：
専門業務従事年月 実習研修は修了証のあるものを記入されれば参考にします	申請時において引き続き： 年 月従事 (うち、前任施設での従事がある場合の期間： 年 月～年 月) 実習研修等の経験がある場合の期間： 年 月～年 月 月(あるいは計 年、 月、 週、 日)
講習会・教育セミナー	合計 時間 (単位)
学会発表	回(うち、発表者 回)
学術論文	編(うち、筆頭著者 編)
薬剤管理指導	症例(癌種 種類)

註1：3ヶ月間研修の修了証の写しを添付して下さい。

註2：がん専門薬剤師認定試験合格通知の写しを添付して下さい。

がん薬物療法に従事していることの証明書

(社) 日本病院薬剤師会
がん専門薬剤師認定審査委員会 御中

申請者氏名 _____

上記の者は、本施設において、 年 月から
 現在まで
 年 月まで

薬剤師としてがん薬物療法に従事していたことを証明します。

平成 年 月 日

施設名 _____

施設長名 _____ 印

その他、特記すべき事項があれば、記入して下さい。

(注：前任施設での従事期間がある場合は、本様式を複写して使用して下さい。)

申請者氏名 _____
 申請者所属施設名 _____
 合計の参加・履修時間 _____時間 (____単位)

講習会・教育セミナー等の参加履修証明

年月日	講習会・教育セミナー等の名称	主催団体名	時間(単位)数	証明
				有 無
				有 無
				有 無
				有 無
				有 無
				有 無
				有 無
				有 無
				有 無
				有 無

(註1：参加・履修証明の有無を○で囲み、有のものについては証明書の写しを添付して下さい。)

(註2：紙面が不足する場合は、本様式を複写して使用してください。)

がん専門・様式4

申請者氏名 _____

申請者所属施設名 _____

発表回数 _____回（うち、演者 _____回）

がん領域における学会発表リスト
(抄録・要旨集の該当部分の写しを添付して下さい)

発表者名 (本人に下線を付す)	発表演題名	学会名	年月 開催地

(註：用紙が不足する場合は、本様式を複写して使用して下さい。)

申請者氏名 _____
申請者所属施設名 _____
学術論文数 _____編 (うち、筆頭著者 _____編)

がん領域における学術論文リスト
(掲載決定され印刷中のものも含みます)

著者名 (本人に下線を付す)	論文題名	学術雑誌名	巻・号 初頁ー終頁

(註：用紙が不足する場合は、本様式を複写して使用して下さい。)

- 註1：掲載論文の場合は、論文タイトル、著者名、Abstractを含む頁の写しを添付して下さい。
註2：掲載決定済みであるが未発刊 (in press) の論文の場合は、掲載決定通知の写しを添付して下さい。
註3：上記の写しは、本リストに記載したすべての論文に関して添付して下さい。

がん専門・様式6

申請者氏名 _____

申請者所属施設名 _____

薬剤管理指導症例数 _____例（がん種 _____）

がん患者への薬剤管理指導実績の要約

（症例番号を付し、性別・年齢・がん種・TNM/Stage・化学療法の内容・指導内容などを要約して下さい）

症例	年齢・性別	
	がん種 (TNM/Stage)	
	治療内容	化学療法 (), 手術, 緩和, その他 ()
	入院期間	
	薬剤管理指導業務 内容の要約	
症例	年齢・性別	
	がん種 (TNM/Stage)	
	治療内容	化学療法 (), 手術, 緩和, その他 ()
	入院期間	
	薬剤管理指導業務 内容の要約	
症例	年齢・性別	
	がん種 (TNM/Stage)	
	治療内容	化学療法 (), 手術, 緩和, その他 ()
	入院期間	
	薬剤管理指導業務 内容の要約	

症例	年齢・性別	
	がん種 (TNM/Stage)	
	治療内容	化学療法 (), 手術, 緩和, その他 ()
	入院期間	
	薬剤管理指導業務 内容の要約	
症例	年齢・性別	
	がん種 (TNM/Stage)	
	治療内容	化学療法 (), 手術, 緩和, その他 ()
	入院期間	
	薬剤管理指導業務 内容の要約	
症例	年齢・性別	
	がん種 (TNM/Stage)	
	治療内容	化学療法 (), 手術, 緩和, その他 ()
	入院期間	
	薬剤管理指導業務 内容の要約	
症例	年齢・性別	
	がん種 (TNM/Stage)	
	治療内容	化学療法 (), 手術, 緩和, その他 ()
	入院期間	
	薬剤管理指導業務 内容の要約	

記載例

がん専門・様式6

申請者氏名 _____

申請者所属施設名 _____

薬剤管理指導症例数 _____例 (がん種 _____)

がん患者への薬剤管理指導実績の要約

(症例番号を付し、性別・年齢・がん種・TMN/Stage・化学療法の内容・指導内容などを要約して下さい)

症例 1	年齢・性別	57歳・女性
	がん種 (TNM/Stage)	卵巣がん (Stage Ic)
	治療内容	化学療法 (TC 療法), 手術, 緩和, その他 ()
	入院期間	30 日間
	薬剤管理指導業務内容の要約	術前に腸管処置薬と感染予防目的の抗菌薬投与について説明を行った。術後に疼痛の確認および鎮痛薬の説明, さらにイレウス予防のための排便コントロール目的で処方された大建中湯と酸化マグネシウムについて説明を行った。組織の病理検査結果から TC 療法施行が決定されたため, そのスケジュールと副作用を説明。TC 療法実施以降は副作用モニタリングを行った。1クール目実施5日後に退院となり, 退院時指導として遅発性副作用の説明および対処法についての確認を行った。
症例 2	年齢・性別	66歳・男性
	がん種 (TNM/Stage)	再発大腸がん (Stage II)
	治療内容	化学療法 (FOLFOX 4 療法), 手術, 緩和, その他 ()
	入院期間	7日間
	薬剤管理指導業務内容の要約	FOLFOX 4 療法導入 (ポート挿入および1クール目実施) のため, FOLFOX 4 のスケジュールおよび副作用とその対策を説明。特にオキサリプラチンによる末梢神経症状と咽頭喉頭感覚異常に対しては低温・冷たいものへの曝露を避けるようパンフレットを用いて指導した。FOLFOX 4 療法初日および2日目は副作用発現の有無と程度を確認。退院時指導では, 今後の外来投与によるスケジュールを説明し, 副作用の対処法および生活上の注意を再度確認した。
症例 3	年齢・性別	72歳・女性
	がん種 (TNM/Stage)	乳がん (Stage IV)
	治療内容	化学療法 (), 手術, 緩和, その他 ()
	入院期間	20 日間
	薬剤管理指導業務内容の要約	呼吸苦と疼痛のため入院。輸液内容および PCA ポンプによるフェンタニル持続点滴と疼痛時のボラス投与について説明を行った。その後, 除痛効果および副作用について確認。胸水穿刺が施行されたため, 分布容積減少に伴うフェンタニル血中濃度上昇の可能性を医師に話し, 作用増強の有無について観察を行った。

所 属 施 設 長 の 推 薦 書

(社) 日本病院薬剤師会
会長 伊賀 立二 殿

申請者氏名 _____

上記の者は、本施設の常勤薬剤師であり、がん薬物療法に造詣が深く、
関連領域における高度かつ広範な知識・技術を備え、豊富な経験を有する
人材であります。また、申請者は、本施設内におけるがん専門医等の診療
部門との連携・協同によるチーム医療の活動経験も十分であります。

よって、上記の申請者を貴会の認定制度によるがん専門薬剤師にふさわ
しいと考え、ここに推薦いたします。

平成 年 月 日

施設名 _____

施設長名 _____ 印

その他、特記すべき事項があれば、記入して下さい。